

第二地連新聞

発行責任	第二地連議長
編集責任	第二地連教宣部
東京清掃	労働組合
第二地連	

2011年1月1日
第14号



東京清掃第二地連議長

金子寿夫

第二地連の仲間たちが昨年2010年5月、メーデーで元気良くデモ行進



東京清掃労働組合
TOKYO SANITATION WORKERS' UNION

当面の予定

- ◎ 東京清掃団結旗開き
1月19日(水)
- ◎ 第二地連団結旗開き
1月26日(水)
- ◎ 第二地連2010年度年次総会
3月9日(水)

第二地連の仲間の皆さん、ご家族の皆さん、明けましておめでとうございます。

鈴木議長の後任を受け、初めての新年を迎えることとなりました。昨年は、議長として至らない面ばかりで、地連の役員の方や地連の仲間の皆さんには大変ご迷惑をおかけしました。

昨年は、民主党政権の下、混乱を続ける日本経済、年金問題、貧困層のさらなる拡大における社会不安がより一層広まった一年でありました。

われわれを取り巻く状況においても、毎年続く賃金値下げ攻撃、そして事業の委託化がとどまる心配がありません。各区の退職不補充方針の下、車付雇上、事業の委託等が年々増加してきている状況のなか、あらためてわれわれ直営としての職域の拡大が求められてきます。

高齢者を対象とした訪問収集の拡大、安否確認、子どもたちを対象とする環境学習の充実、地域住民に密接した事業展開を推し進めていく必要があります。

リサイクル型社会が広がっているなかで、区民と直接触れ合える事業で働く職員として、今まで以上にごみの減量、リサイクルのさらなる推進を、区民と一体になって進めながら区民サービスの向上を図り、そして職場を守る運動に生かしていかなければなりません。

暗く長いトンネルの中で、わずかに先に見える明かりをめざし、今年も地連の仲間の皆さんにはご迷惑をかけるかと思いますが、情報の共有化を密に、各区の安易な委託化に対し、地連として全力で取り組んでいきたいと思います。

【金子寿夫】



第二地連青年部

野口貴史 議長

一面トップ記事、第二地連金子議長による新年の挨拶に続き、第二地連青年部野口議長、および第二地連4区5支部の代表(委員長)からそれぞれ、昨年を振り返っての今年の抱負など、挨拶をいただきましたので、以下ご紹介いたします。(編)

あけましておめでとうございます。我々青年部を取り巻く状況は年々厳しいものとなっており、退職不補充の方針の下、青年部は減少の一途となっております。現在青年部は、23区全体で約70名程となつてしまいました。この状況の中でこれから約30年働き続けられるのか不安で一杯です。

これから先、清掃事業としての職を守り、職のレベルアップを図ると共に、地連内での学習・交流等で横のつながりを一層強化していく事を再確認し、「退職まで安心して働き続けられる職場」「生命と権利を守る」事を目指していきたいと思ひます。

引き続き本年もよろしくお願ひいたします。共にがんばりましょう!



荒川支部

田中実 委員長

新年あけましておめでとうございませぬ。荒川区当局は事業執行に関わる統一基準が定まっていないことを良いことに、週の前半では積載の割り返し率が

97%を超え臨時車・対策車に対応するという、横暴な計画を押し付けようとしています。安心・安全・安定を求める私たちが働くものにとっても、区民の皆さんにとっても、飲める計画になつていません。支部一丸となり我々の要求貫徹まで最後まで粘り強く闘つていかなければなりません。

二つ目の課題は正規職員の採用です。「平成13年」に1名の新規採用がされて以来、9年間は派遣職員や臨時職員で補つてきましたが、責任ある清掃事業を遂行するためには、正規職員での欠員補充が必要不可欠であります。その他課題は山積みですが、引き続き支部・地連・本部に結集し団結して闘つていきます。



北支部

豊田孝之 委員長

第二地連の組合員の皆さん、明けましておめでとうございます。清掃事業が区

後、新体制となり半年が過ぎました。この数年、景気の衰退に伴い、われわれ公務員労働者には厳しい向かい風となり、昨年の人事委員会勧告では、2年連続のマイナス勧告が出されました。厳しい中ではあります。が、組合員の労働条件の維持向上のため闘うしかありません。今年以降、「人事院勧告の廃止」に関する労使交渉が大きな課題になります。区移管以降支部として、区交渉を行い労働条件を確保してききました。今年も厳しいことが多々あると思いません。ぜひ、組合員の全員の連帯と団結で乗り切っていきたいと思います。今年もお願いいたします。



北工場支部

青木一吉 委員長

第二地連の仲間の皆様には、いつも大変お世話になってい

ます。今年も北工場支部は少人数ながら、宿泊学習会・ボーリング大会・団結まつり

など、微力ではありますが、地連の活動に参加することができました。来年度は、もう少し人数が出せるように頑張っていきたいと思っておりますので、宜しくお願いいたします。

台東支部

江森正二 委員長

第二地連の組合員、ご家族の皆様、明けましておめでとうございます。台東支部を代表して新しい年のご挨拶を一言申し上げます。

昨年の賃金確定闘争において、地連役員区長への要請行動、各区長への要請行動、総決起集会、署名行動やステッカー闘争など、職場から

の闘いを積み上げた全組合員の皆様に対して御礼を申し上げます。今年には公務員制度改革等の新たな要因が加わる事が予想され引き続き困難な状況ですが、要求実現に向け、組織強化をはかり共に闘っていきましょう。



文京支部

桐田達也 委員長



新年あけましておめでとうございませす。

次から次へと新たな獲物（儲け）を求めて世界中を飛び廻る猛禽が、その強欲な翼を更に大きく広げ、弱い者を食物にしなから格差社会を生み出しています。

かつて、「日本人はうさぎ小屋に住む労働中毒」と言われたことがありましたが、今ではコツコツとまじめに働いてきたうさぎ達も、その小さな小屋から追い出され猛禽の餌食にされています。

強欲な資本主義の犠牲となるのは労働者であり、官も民も関係ありません。全ての働く者の力で安心して暮らせる社会を実現しましょう。